



私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。

定例会ニュース

(2022年5月)

「ミナミ御堂筋の会」は、ミナミの御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける団体です。

vol. **71**

1. 令和4年度 定時総会を開催しました

一般社団法人ミナミ御堂筋の会 第1期の定時社員総会を下記要領で開催し、議案については、一同賛成により、すべて可決されました。



- 日 時：令和4年(2022年) 5月30日(月) 16:00~16:30
- 場 所：難波御堂筋ビルディング 難波御堂筋ホール
- 出席者：正会員：11社 委任状提出者：4社 議決権行使書提出者：0社

(1) 第1期 事業報告・収支報告

■ 第1期 (令和3年度) 事業報告

- ① 道路空間再編等官民連携
- ② 沿道適正化
- ③ 道路空間活用・社会実験
- ④ 沿道プロモーション
- ⑤ 会の管理運営

■ 収支報告

監査の結果、令和3年度事業計画に基づき適正に執行され、会計処理が適正に行われた旨が報告された。(幹事 平川商事株式会社様)

(3) 第2期 事業計画(案) 及び 収支予算(案)

■ 第2期 (令和4年度) 事業計画 (案)

中長期的な視野、沿道の価値向上の視点から、「ミナミ御堂筋ビジョン 2022」に基づき、「ミナミのカルチャーを創造し、世界に発信するストリート」をめざし、不動産、観光、都市に関わる状況について情報を集めながら、ミナミ御堂筋のあり方を検討する。

① 道路空間の創造的な活用

- ・これまで、御堂筋道路空間再編を見据え、地域の方々と整備後の維持管理や活用、将来的な BID の導入等も展望した議論を進め、道路協力団体の指定のもと魅力ある沿道空間を持続的に管理・活用する体制・財源確保の仕組みを検討・実践し、御堂筋イルミネーションとの連携や社会実験での広告・パナーやデジタルサイネージ等の設置を通じて、資金が循環し地域環境の改善や雇用創出につなげる取り組みの実績を積み重ねてきた。
- ・これらを発展させ、道路協力団体制度、歩行者利便増進道路(ほこみち)制度等を活用し、側道閉鎖区間の完成とエリアマネジメントの本格化をめざす。
- ・研究を進めてきた道路空間の柔軟な活用や新たな法制度、ビッグデータなどの蓄積をもとに、道路空間の安全で柔軟な利活用方策や、回復・反転攻勢に向けた沿道プロモーションなど、御堂筋から大阪・関西を元気にする将来像を描き、市や国などに提案をし、地域の関係者とともに実現を図る。
- ・足元からの課題解決に向け、大阪市サイクルサポーター制度とともに、道路協力団体として自転車適正化・清掃活動を地道に継続していくとともに、放置自転車削減の呼びかけを進める。また、モビリティポートの常設化なども検討を進める。
- ・道路維持管理活動等を支える財源の確保について、社会実験での試行、次年度以降の包括的な道路管理・運営や、広告・デジタルサイネージ事業の検討を進め、とりわけ、パナー広告や仮囲い広告他のセールスを一層強化する。

② 魅力コンテンツの創造

- ・今年度は、2025 大阪・関西万博への準備期間として、会員等の参画を促しながら、万博推進事業を新たな事業推進の柱として事業を進め、部会に加え、新たに魅力コンテンツの創造を推進するための予算配分と体制整備を行い、ミナミ御堂筋の魅力コンテンツ創造に向けて自主事業に取り組む。

③ その他

- ・大阪市や万博協会、団体相互の横の連携を密に図り、各種協賛事業への参画など、ミナミエリアの一員としての責務を果たし、連携を積極的に図る。
- ・会員の拡大に向け、沿道地権者・テナントへの働きかけを一層進め、会としての存在感をより一層高める。

■ 今年度実施事業 (右図参照)

- ① 道路空間の創造的な活用：道路空間再編等官民連携、沿道適正化、道路空間活用・社会実験
- ② 魅力コンテンツの創造：2025 大阪・関西万博関連事業、沿道魅力コンテンツ創造・プロモーション
- ③ その他：会の管理運営

■ 第2期 (令和4年度) 収支予算 (案)

事務局より、第2期(令和4年度)収支予算案を提示した。



▲ 今年度実施事業 (案)

(3) その他

■ 2期工事完了後のオープニングに向けて

2期整備区間の会員より事前に提案があった、整備後の道路空間を美しく保つ活動を行う取組みについて、事務局が紹介した。

2. メインストリート講演会

エリア価値向上へ メインストリートの戦略

商店街振興組合原宿表参道櫛会 事務局長 鬼 雄次郎氏

プロフィール

大手セールスプロモーション、テレビ局イベントの企画・制作業務や、テレビ広報局の番組宣伝ほか各種プロジェクトの企画・制作業務を経て、2013年より原宿表参道櫛会に勤務、2016年より現職。

※無断使用・転載は、固くお断り申し上げます。
※定例会ニュースでは講演の一部のみ紹介します。



▲ 商店街振興組合原宿表参道櫛会様 資料より

表参道は、明治神宮から神宮外苑へと続く、ケヤキ並木が美しい道で、日本の伝統文化とラグジュアリーブランド等が共存する、日本を代表する風格あるメインストリートです。商店街振興組合原宿表参道櫛会 事務局長 鬼 雄次郎氏より、会員の賛同・協力や、プロモーション、マネタイズなどについて、表参道の取組みを詳しくご紹介いただきました。

商店街振興組合 原宿表参道櫛会について 【会員数 202 社、約 600 店舗（2022 年 5 月現在）】

- ▶ 昭和 48 年に表参道と神宮前交差点両側の明治通り沿いを区域とする「原宿シャンゼリゼ会」として設立、昭和 60 年に商店街振興組合へ法人化した商店会。
- ▶ 平成 3 年～9 年の東京都の街路修景事業では、来訪者が安全に街を歩けるよう、歩道敷石、街路灯の変更を自費で行い東京都に寄贈。
- ▶ 平成 11 年には、原宿の発祥の地に位置すること、歴史的に明治神宮の表参道であること、そして、シンボルである櫛(けやき)の名を取り、「原宿表参道櫛会」と名称を変更。当商店街では、地域の生活環境の向上と商業の健全なる発展を目指し、各種まちづくり事業に取り組んでいる。

表参道は、明治神宮の正参道であり、古くから住民と商店が共存しているエリアである。私たちの活動は、商業中心のまちづくりをしない。住民・商人が同じ方向を向き、来街者にとっても快適な生活環境を維持し、つくるまちづくりを目指す。それが企業にとって売り上げではない。付加価値を作っている。まちの価値が上がる = エリアの価値が上がる

原宿表参道櫛会のまちづくり

行政レベルにただ任せるとはならず民間レベルで活動し得ることを最優先に 商店や企業、住民が一体となって達成するために活動

▶ 住民と商業が共存したまちづくり

原宿・表参道の年間イベント

▶ 主催イベント（主催イベントの他、後援・協力イベント多数）

写真左より、TOKYO ショッピング WEEK、原宿元氣スーパーよさこい、ハローハローウィンパンプキンパレード、表参道イルミネーション

表参道を活用したフラッグ広告事業

▶ 掲出するデザインが街に適したものとなるように 会にて広告表示自主審査基準を設けている。

【参考】2020.6～2021.4のフラッグ純収益は総額約1650万円。その約43%を清掃事業、約23%をその他表参道の景観環境整備に、約13%を街路装飾に活用。

※一部の催事協賛フラッグについては上記の通りではない。
（資料：商店街振興組合原宿表参道櫛会様 HP 令和3年度広告事業収支状況報告）

住んでいる人・働いている人・来る人にとって快適な地域空間・環境を創り維持する活動

▶ 定期清掃活動状況

- ・グリーンバード：毎週月曜日・木曜日
- ・グリーンバード美容部会チーム：毎週水曜日
- ・クリーン・パスターズチーム：毎週月曜日・水曜日・金曜日
- ・喫煙所清掃スタッフ：毎週土曜日・（日曜日）

ほぼ毎日 清掃

▶ スマートゴミ箱の導入

▶ 環境メッセージ広告を活用したゴミ箱

意見（抜粋）

◎住民と商業が共存するまちづくりを掲げておられるが、双方の目的は一致するのかわ。→昔はまとまるのは難しかったようだ。夏祭りが無かった地域に、明治神宮に奉納する形でよさこいを開催することとなり、そういったことを機にまとまってきた。また、シンボルとなった櫛の保全活動の中でも、共通の視点を持つようになってきた。

定例会 参加者	【正 会 員】	河本・湯川 ((株)KJRマネジメント)、加賀 (三津寺)、奥村 ((株)泉屋商店)、高橋・福崎 ((株)スポーツタカハシ)、藤本 ((株)播重)、都 ((株)理想実業)、池田 ((有)泉屋)、平川・真鍋 (平川商事(株)/Recoord)、奥谷 ((株)三栄建設)、段・藤丸 (光明興業(株))、吉田 ((株)ベルコ)	
	【賛助会員】	武村 (コカ・コーラボトラーズジャパン(株))、中嶋・橋川・米澤 (シーピーアールイー(株))、藤田・李 (松竹(株))、杉山 (大日本印刷(株))、戸高 ((株)大丸松坂屋百貨店)、島田 (東京建物不動産販売(株))、安田 (東京建物(株))、小林 (西尾レントオール(株))、合志 (野村証券(株))	
	【オブザーバー】	山本 (戎橋筋商店街振興組合)、清水 (総合調査設計(株))、上村・後藤 (凸版印刷(株))、阪本・山中 (NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会)、山口・三好 ((社)御堂筋まちづくりネットワーク)	
	【事 務 局】	中塚・絹原・羽田・竹内・竹林 ((株)地域計画建築研究所 (アルパック))	※一部参加者はオンライン

次回定例会のお知らせ **2022年 6月27日 (月) 16:00～** 難波御堂筋ビルディング 難波御堂筋ホール (予定)